

令和8年度かごしまA X実証体制整備事業業務委託に係る質問への回答

No.	質問項目	質問内容等	回答
1	仕様書5（1）について	「県内の課題調査」における調査対象リスト（商工会議所・業界団体・市町村等）の提供、県名での協力依頼文書の発出、過去の類似調査データの提供等は可能でしょうか。	可能です。
2	仕様書5（1）について	「（100件程度の課題を抽出すること。）」とあるが、1産業につき100件ではなく、各産業合計の数のイメージで齟齬ないか。	ご認識のとおりです。
3	仕様書5（2）について	仕様書5（2）ウに記載の「アドバイザー・ボード」の設置主体は県が受託者か。委員の人選、想定開催回数等の想定と委員謝金・旅費を委託料に計上すべきか教えてください。	「アドバイザー・ボード」については、実証フィールドの選定にあたり、専門的な見地から助言・意見をいただくことを目的として設置するものです。 設置主体や委員の人選については受託者からの提案によるものとし、県との協議の上で決定することを想定しています。なお、実証フィールドの選定に加え、令和9年度に予定する課題解決に向けた実証・実装段階においても助言をいただくことを想定し、適切な有識者を選定してください。 また、意見聴取の方法については、会議形式、オンライン開催、書面による確認など、効果的な手法をご提案ください。 なお、アドバイザー・ボードの運営に係る委員謝金、旅費その他必要な経費については、提案内容に応じて委託料に計上してください。
4	仕様書5（3）について	・既存の県のサイトの一部に掲載するのではなく、本件専用の新規Webページを構築する理解であるか。 ・仕様書（4）のプロモーションサイトとの関係について、（3）の課題を掲載する専用サイトと（4）で構築する専用Webサイトは同じサイトの中に構成するか、別建てか等指定はあるか（または提案者に委ねられるか）。	・専用Webサイトについては、既存の県ホームページの一部として掲載するのではなく、本事業用の新規Webサイトを構築することを想定しています。 ・仕様書（3）の課題掲載と仕様書（4）のプロモーションについては、同一サイト内で構成することを想定しています。
5	仕様書5（3）について	仕様書5（3）イに記載の「マッチング機能」について、課題一覧の閲覧＋問合せフォーム程度の想定か、それとも会員登録・応募・メッセージのやり取り等の水準まで必要か教えてください。	「マッチング機能」については、課題一覧の閲覧や問い合わせフォーム程度ではなく、会員登録、マッチング申請、当事者間のメッセージ機能等を含む水準を想定しています。
6	仕様書5（4）について	「工問い合わせ対応」とあるが、こちらは業務開始後～3月の事業実施期間中に来る問い合わせに対応するものであり、業務終了後は旧ドメインの1年以上の保存以外に対応義務は発生しない理解であるか。	ご認識のとおりです。
7	経費算出方法について	・経費の算出に当たって実績工数・物件費実績の提出は必要でしょうか（特に成果物一覧に「実績報告書」とあるが、これは実績工数のわかる資料や業務日誌等を指すものか）。 ・請求金額は、上記で提出した実績（実績工数×人件費単価、物件費実績）に基づき変動する契約形態を想定していますでしょうか。	・実績報告については、業務の実施内容や成果が確認できる報告書等の提出を想定しており、必ずしも業務日誌や工数管理資料の提出を求めるものではありません。 ・また、請求金額については、実績工数に応じて変動する精算方式ではなく、契約で定めた契約金額を基本とすることを想定しています。
8	プレゼンテーションの実施について	プレゼンテーションの持ち時間（説明/質疑の内訳）、出席者の上限について教えてください。	プレゼンテーションの持ち時間は、説明10分、質疑応答5分を予定しております。 出席者の参加人数の上限は設けておりません。